

まだまだ暑い日が続いていますが、秋らしいものも、ちらほら見られるようになりました。

☆今月の観察会

今月の観察会の担当は篠原です。ドングリと枡を例にしてタネの散布方法をみなさんにも考えてもらいながら紹介しました。



泥の浚渫中です

まずは、なぜ遠くにタネを蒔くのかというと、①逃避仮説:親の近くで増えると病気や子ども同士の競争で育つことのできないタネが多くなるので、タネを遠くにまこうという考え方です。②移住仮説:住みやすい新しい場所に移動するチャンスを得るためにタネを遠くに蒔くという考え方です。

次にタネを蒔く方法は、大きく分けて5つ。A タネの綿毛など風に飛ばされる風散布、B キョウワなどの水に流される水散布、C タネが入った袋がはじける自発的散布、D 刈などの落ちるだけの重力散布、E 動物に運んでもらう動物散布があります。さて、ドングリと枡は、両方とも重力散布と動物散布を使っています。動物散布は、ドングリは初ミなどが冬に食べるために貯めたもので、忘れられたタネが芽を出す食べ残し型、枡はタネのまわりを食べる周食型、そして、動物にひっついて遠くに蒔く(いわゆるひっつき虫)付着型に分かれます。ドングリと枡、動物に食べられる点では同じですが、違いはタネを食べられるか食べられないかです。食べ残し型はタネを食べられ、周食型はタネの周りを食べてもらいタネは糞と一緒にまいてもらう方法です。内容が少し難しかったようで、みなさん話を聞きながら、必死に頭を整理されていました。

話のあとは、森でリフレッシュ!季節の花のナンキンハゼやドングリ、枡などを見て回りました。その途中に道の上が赤紫色になっているのを見つけて、何かなのと思いきよく見てみるとヨシヤマゴボウの実の色でした。が、さらによく見てみるとその中にタネの死体もあって、みんなで考えた結果、何かに一緒に食べられたのだらうということになりました。

☆作業について

①竹材の選別②炭の箱詰め③炭磨き④水辺ビ

9月の作業日は

10月24日(水曜日) 週日活动 森の居酒屋は10月10日 午後7時頃～

10月13日(第2土曜日)9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

ホープのしゅんせつ⑤機械刈り⑥昼食の準備の6メニューです。

①は、工作材料に伐っておいた竹材が変色して、材として使えるものとそうでないものにわけました。使えないものはそのまま捨てるわけではなく、これからの焼き芋シーズンの薪として活躍してもらいます。



ドングリ拾ったよ～

②は、夏前に焼いてあった炭を箱詰めしました。③は、先月に引き続き、工作用に竹炭を洗って磨く作業です。竹炭に和紙を貼り、絵を描く作業を9月15日に行いました。④は、森の中の河川改修の一環で、10年間で河に溜まった泥をスコップで水揚げしました。⑤は、「ドングリの実生、材バギボウシ、ヤブランは、刈らないでください!」とキコ～く言ってからの草刈り、「スリスリがたまった!」と言いながら、ちゃんと枡だけを刈っていただきました。⑥は、炭焼き名人特製の炭を使って、焼きナスと焼きピーマンなど、今回も野菜たっぷりの料理ができあがりました。

今月の昼食メニューは、チキンハンバーグ、ラタトゥイユ、賀茂うりと鶏肉の炊いたもの、そしてデザートには愛東の梨をいただきました。

用意していた作業が午前中で全て終わったのと、暑さもまだ厳しかったので、今月もお昼までの作業となりました。

☆第4水曜日の作業

機械と鎌による草刈を行いました。昨年木を植栽した場所は、明るくなった分、草の生長が激しく、すごい勢いで草が生えてきています! まず機械で荒刈りをしてもらい、その後鎌で丁寧に刈っていきましました。ドングリがたくさん落ち、子どもたちと森の中に入っていける場所は草刈り機で枡を刈ってもらうとすっきりし、足下にドングリを発見しやすくなりました。陽ざしはまだまだあるものの、汗がすぐ乾くので、とても気持ちのいい汗をかけました。

お昼のメニューはサマヤカボチャ、ゴーヤチャンプル、そしておいなりさんなどとてもお腹いっぱいになりました。

☆9月の木ままクラブ

9月からは、いつも通り月に2回の活動です。作業がしやすい季節になってきたからか、いつものメンバーが勢揃いでした！

9月13日 11人 ナラ枯れで枯れたコナラの大きな木を2本伐採。その他、枯れ枝を高枝切りで伐採しました。午後からは有志で今シーズン初の芋掘を行いました。日照り続きで土が乾燥してとっても固かったです。

9月20日 9人 林内各所にある枯れ枝や枯れ木の伐採を行いました。
10月は4日、18日が活動日です

☆今年のナラ枯れ情報

今年は雨が少なかったもので、カサガにとってうれしい年のようなでした。昨年森ではナラ枯れの木はほとんど無かったのですが、今年は約10本ほど枯れ、付近では箕作山が激しく枯れていました。元スタッフの岸本君は現在、滋賀県立大学の大学院でナラ枯れの研究をしているので詳しく聞くと、滋賀県全体では被害は南下し、甲賀市・旧甲西町が被害のピークだったようです。また、余呉の方でも2回目のナラ枯れが発生しているようで、まだまだ収束するのは先のようなです。

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

夏休みの時期も終わり、9月は少し落ちついた日々を過ごすことができました。

夏休み恒例のクイズラリーは、76人が参加してくれました。夏休み期間のうちの10日間は、クイズラリーではなくサマーウォークというスタンプラリーを行い、こちらは20人が参加してくれました。

クイズラリーは超上級編まで全問クリアしてくれる子もいてくれましたが、参加人数が少なくなっていることがやはり淋しいですね。いったい最近の小学生は、どこでどうやって長い夏休みを過ごしているのでしょうか？

9月に入り、今だ！とばかりに、海外旅行に行くスタッフあり、東北にボランティア旅行に行くスタッフありと、それぞれに休暇を楽しむことができました。これからやってくる忙しい忙しい忙しい日々に向けて、リフレッシュできたことと思います！

9月の最終週からは、いよいよた〜くさんの学校や団体が森を訪れてくれる、とても忙しい時期が始まります。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですが、気合いを入れて迎えたいと思います！

その秋のプログラムでとても重要などんぐり。今年もクサギとアベマキがすでに落ち始めています。森を歩いていると、どんぐりが落ちるカサッ、ポツという音がよく聞こえます。9月20日には、どんぐり工作1番乗りの学校を迎え、いよいよどんぐりの季節が始まったことを実感しました。

そして秋からのもう1つの主役の焼き芋！どん

ぐり工作1番乗りの学校は、同時に焼き芋も1番乗りでした。まだ暑い日でしたが、無事にこの秋最初の焼き芋は焼き上がりました！残念ながらお持ち帰りだったので、子どもたちが食べる様子は見れませんでした。これからたくさん笑顔に出会えることと思います！

☆モリイコ！の子どもたち

まだまだ残暑が残る9月でしたが、子どもたちは元気元気。モリイコ！S 第5回目は提灯と月明かりのみで夜の森たんけんを行いました。たんけんでは、夜の虫の音を聞いたり、銀マットで寝転んで夜空を見たり、忍び足で道のデコボコを感じたりしました。怖くて行けないって子もいたのですが、班のみんなで手をつないでいると安心できたのか、回ることができました。夜にたくさん虫が鳴いていること、提灯がなくても月明かりで歩けたこと、たくさん発見がありました。子どもたちは、寝転んで夜空を見上げたことが一番楽しかったようで、「初めて流れ星みた！」「ここでキャンプしたいな」などたくさんの星に感動していました。夜の森を楽しみ、怖い気持ちに打ち勝ちよりたくましくなったように思います。

一方、モリイコ！の5回目は「工作」を行いました。午前は秋のどんぐりを使って、コマ、ヤジロベエ、どんぐりコopter、どんぐりカーを作りました。午後からは、モリイコ！では初めてノギリとナイフを使いました。ノギリで切った竹を組み立てて、どんぐり迷路を作ります。初めてのノギリもみんな上手に使えるようになりました。また、自然とお友達の竹を押さえてあげる協力態勢ができしており、驚きました。最後に、ナイフで枝鉛筆を作りました。ナイフ（小刀）を使うのは当然初めてなので、なかなか思うようには削れません。けれども段々と上手になっていき、2本目はスムーズに削れるようになっていました。できあがった鉛筆を嬉しそうに見ている子どもがたくさんいました。どれも一生懸命作ったものばかりなので大切にしてくれたらなと思います。

早いもので、モリイコ！は10回中5回が終わりました。子どもたちは、お友達の名前を覚えて呼び合ったり、お手伝いをしてあげたりと回を重ねるごとに仲良くなっていきました。残り5回子どもたちがどう成長していくのか楽しみです。

☆10月の作業は…

秋らしい風がふくようになった森で、さわやかに作業ができるのではないのでしょうか。お昼は、サマ任料理のワンプレート予定です！

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！